

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和4年度分）

施設	名称	栃木渡良瀬の里
	所在地	栃木県栃木市藤岡町赤麻502番1
	施設内容	福祉施設・公園
指定管理者	名称	株式会社メディカルフィットネスとちの木
	所在地	栃木県栃木市野中町553番地
	主な業務内容	「栃木市渡良瀬の里」の管理・運営

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	基本方針・PASSの理念等の講習			年3回実施	年6回実施		
	利用者案内更新数			毎月	年19回		
	定期アンケート集計数			100枚	140枚		
	利用者満足度			75%	85%		
	苦情処理率及び意見・要望反映率			反映率30%程度	30%程度		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25
指定管理者コメント	①全職員に運営方針及び企業理念等の研修会を開催することで、仕様書・事業計画に基づいた運営方針の共通理解のもと、公共施設として適切な管理運営を行いました。						
	②来館された利用者に対し親切・丁寧で適切な思いやりのある接遇を行うと共に、館内表示は見やすく配置した。また、施設の利用制限等については、館内掲示物等及びHPにて随時更新に努めた。						
	③教室開催時や定期アンケート調査・意見箱・利用者との日常会話から得た様々な意見・要望の内容を把握し、利用者全体の公平性を保ちながら、安心・安全かつ快適に利用していただけるよう努めた。						
	④利用者からの苦情・意見に対しては、所管課及び関係各課との連携を図りながら迅速かつ適切に対応しました。また、管理運営上必要と判断される場合は、理解・協力を得られるよう懇切丁寧な対応に努めた。						
施設所管課コメント	アンケート調査などにより利用者の意見・要望の内容を把握し、利用者全体の公平性を保ちながら、安心・安全かつ快適に利用できるよう努めていました。						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	施設利用者数		10,800人		15,721人		
	利用者案内掲示箇所数		4箇所		6箇所		
	ホームページ更新数		毎月		年19回		
	教室開催回数		年間85回		年間95回		
	地域との協働事業数		年2回		年7回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>①③事業計画に沿った管理運営及び自主事業を予定していましたが、一部新型コロナウイルス感染拡大防止による利用制限等もあったが、一昨年・昨年度比よりは回復傾向にあり、施設利用者及び自主事業参加ともに例年の水準を超える事が出来た。</p> <p>②施設のホームページは、随時更新に努めました。また、藤岡地域の広報誌及び栃ナビの掲載によって、新規利用者の増加に向けた取組みも行いました。</p> <p>④市の事業及び毎年協力している各事業やイベント等は、地域団体との協議の上、やむを得ず中止・延期となるものが多い中、子育て支援センター事業の協力や保育園・小学校の課外授業を受け入れました。また、自主事業に関しても、感染防止を行いながら誰でも気軽に参加しやすい教室開催に努めました。</p>						
施設所管課コメント	<p>開館時間を平日16時から17時までの1時間、土曜日は20時まで4時間延長し利用者の利便性向上に努めていました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に尽力しながら保育園・小学校の課外授業を積極的に受入れていました。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	見積合わせ実施数		5件	7件			
	設備・備品等更新数		4件	9件			
	施設・設備点検回数		年15件	18件			
	本社及び公認会計士によるチェック数		年4回	年16回			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	I	1.0	15
指定管理者コメント	<p>①毎月、税理士・本社経理担当職員との財務状況チェックの他、財務委員会を開催することで、財務状況を健全に保ち、納税等を含め適切な運営業務を行いました。</p> <p>②利用者へのサービスの質を確保したうえでも施設経費は大幅な削減となり、経費削減及び予算残額分は、昨年度同様市との協議を行い、施設の老朽化部分の修繕等を行いました。具体的には、屋外遊具修繕及び受水槽塗装等の修繕に充てました。</p> <p>③委託業者については、適時見積もり合わせを行い、委託箇所によっては、包括契約や複数年契約を結び経費削減に努めました。</p> <p>④日常の点検によって、備品管理等は使用頻度や消耗度合を把握・考慮し、適切な管理を行いました。また、故障や不安のある箇所は職員が早期補修に努めました。大きな予算が必要になるものについては、早い段階で市に報告・相談し綿密な打合せに取り組みました。</p>						
施設所管課コメント	<p>施設経費の削減分を原資として施設の老朽化部分の修繕等を行い経費削減と施設管理の両立に尽力していました。備品管理等は使用頻度や消耗度合を把握し、適切な管理を行っていました。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	人員配置数		6名/1日		6名/1日		
	施設長ミーティングの実施		年12回		年24回		
	研修会実施数		年6回		年16回		
	健康保険料・各種税金納付率		100%		100%		
	経営収支比率		100%		100.69%		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	①日常の管理運営体制については、仕様書の定める条件を満たした適正な人員を配置し、円滑に業務を行いました。自主事業の運営についても、経験豊富なスポーツドクター・健康運動指導士のもと、健康・スポーツに関する講座を展開し、芝生や樹木管理についても、本社事業部から派遣された専門スタッフと協力のもと、計画的かつ効率的な管理を行いました。						
	②全職員を対象に、適切な対応を行うため、職員同士の情報を共有するミーティング・社内研修を行い資質向上を図りました。新型コロナウイルスの対応として、毎月施設長ミーティング及び本社ミーティングを毎月開催し、情報交換を行い、感染予防及び対応マニュアルに基づいた感染症対策を徹底した運営に努めました。						
	③法定福利厚生は、栃木市勤労者福祉サービスセンター(ウェルワークとちぎ)への加入の補助及び健康診断・従業員親睦会の補助・栃木県社会保険協会への加入(各種割引券の発行)・関係関連施設の利用補助等を行い、勤労意欲や能率の向上を図りました。						
	④⑤社会保険労務士や税理士の助言・指導を得ながら納税し、財政状況を健全に保ち、適切な運営を行いました。						
施設所管課コメント	適切な対応を行うため、職員同士の情報を共有するミーティング・社内研修を行い資質向上に努めていました。 また、芝生や樹木管理など施設の管理についても適正な人員を配置し、円滑に業務を行っていました。						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	安全定期点検実施回数		年12回		年18回		
	消防防災訓練実施回数		年2回		年2回		
	安全講習会開催数		年3回		年6回		
	個人情報講習会		年1回		年2回		
	損害賠償保険の加入		加入		100%		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	①日常点検・巡回を行い、危険箇所及び体調不良者の早期発見・救急対応には即時対応が行えるよう、全職員が高い意識を心がけ利用者の安全・安心に努めました。また、マニュアルに基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大防止にも対応しました。						
	②社内及び市担当課との緊急連絡網により、緊急時には迅速かつ適切に連絡・対応が行えるよう備えました。また、震災及び風水害が予想される場合は、市と連携を図るとともに、速やかな対応に努めました。						
	③消防訓練及び心肺蘇生法等を計画に基づき行いました。また、不測の事態に備え、緊急時の配置体制の確認等及び施設職員全員が参加の研修を行い利用者の安全確保に努めました。さらに、本社開催の救命救急講習等に参加することで職員のスキルアップを図りました。						
	④個人情報保護規定に基づき年2回研修を行うことで、適切な管理の徹底に努めました。						
施設所管課コメント	手指消毒や検温など新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策を徹底し感染拡大防止に努めていました。						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	25	25	
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	20	20	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	15	
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	20	20	
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	16	16	
評価点合計	100	93	96	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

◀ 別紙 ▶

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	3年 3月期	4年 3月期	5年 3月期
資産総額	82,576,945	75,416,940	74,358,064
売上高	298,840,799	321,257,852	338,434,405
経常利益	△ 14,149,418	777,958	2,386,795
当期利益	△ 14,314,818	612,558	2,221,395
経常収支比率	95.6%	100.2%	100.7%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	3年 3月期	4年 3月期	5年 3月期
経常費用	321,829,294	327,395,680	341,813,718
経常収益	307,679,876	328,173,638	344,200,513
経常収支比率	95.60%	100.24%	100.69%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

・今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、利用制限の基での営業となりましたが、営業中は衛生管理及び感染対策のポスター掲示等での周知を行い、利用者の方々が安全・安心して利用していただけるよう感染拡大防止に努めた。
また、危機管理や衛生管理及び安全管理など社内ミーティングを行い、情報を共有すると共に、施設点検・備品修繕・研修等を行いました。

利用制限に伴う経費削減は、施設の管理状況を考慮しながら、適切に行いました。また、予算残額等については、栃木市との協議の上、管理予算では賄いきれない修繕(老朽化が進み危険性が高まっていたり、利便性が低下している設備や施設)を実施し、利用者サービス・安全性・満足度の向上に努めました。